

若手教員支援サイト

小学校理科ワンポイント

令和2年11月17日

第6回 6年生

「より妥当な考えをつくりだす力」



電気の領域の内容の構成

小学校学習指導要領解説 理科編
P.22～25

電流・電流と磁界

では「電気」を例に、6年生を見ていきましょう。

(4) 電気の利用

6年

5年

(4) 電流がつくる磁力

(3) 電流の働き

4年

3年

(5) 電流の通り道
(4) 磁石の性質

各学年の理科でつけたい問題解決の力

6年

より妥当な考えをつくりだす力

5年

予想や仮説を基に、
解決の方法を発想する力

4年

既習の内容や生活経験を基に、
根拠のある予想や仮説を発想する力

3年

差異点や共通点を基に、
問題を見いだす力

小学校学習指導要領（平成29年告示）解説

理科編

平成29年7月

第6学年の目標及び内容

（4）電気の利用

発電や蓄電，電気の変換について，電気の量や働きに着目して，それらを多面的に調べる活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のことを理解するとともに，観察，実験などの関する技能を身につける。

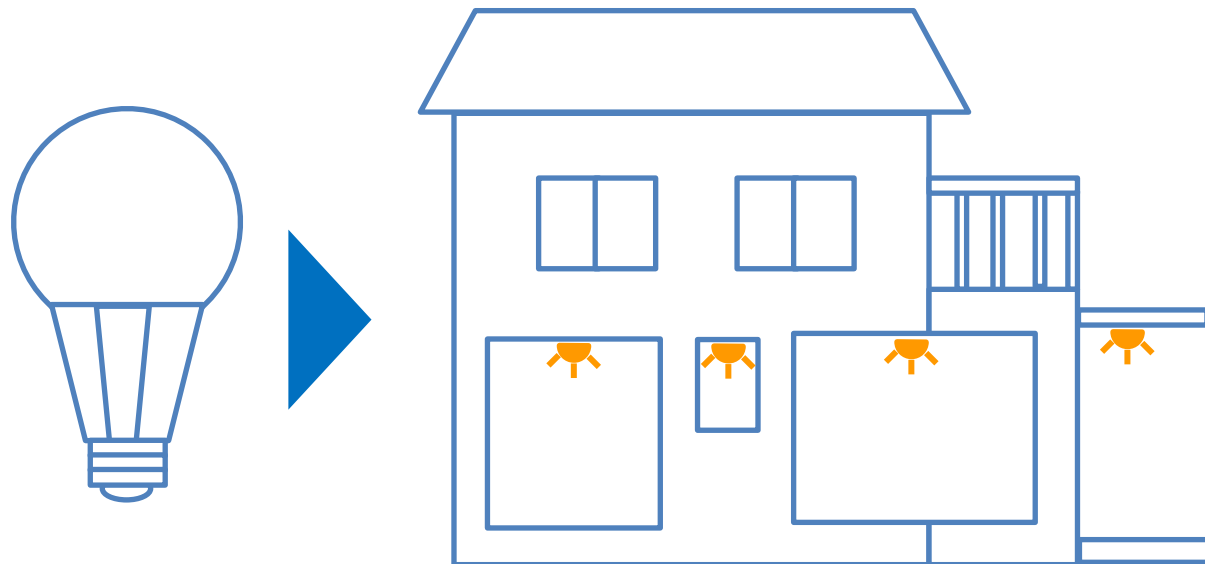
(ウ)身の回りには，電気の性質や働きを利用した道具があること。

より妥当な考えをつくりだす力を育成していくためには・・・

日常生活や身近な題材をもとに、「自分ごと」として、学習した知識を活用しながら問題解決をさせてはいかがでしょうか。

家のあかりを1つだけ、LEDに交換します。

どれを交換しようかな？



コンデンサで実験したとき、LEDと豆電球がつく時間に違いがあったかな？

差異点をもとに問題を見いだす力（3年）

LEDにすると電気が節約できるかな？

既習事項と関連付け予想を発想する力（4年）

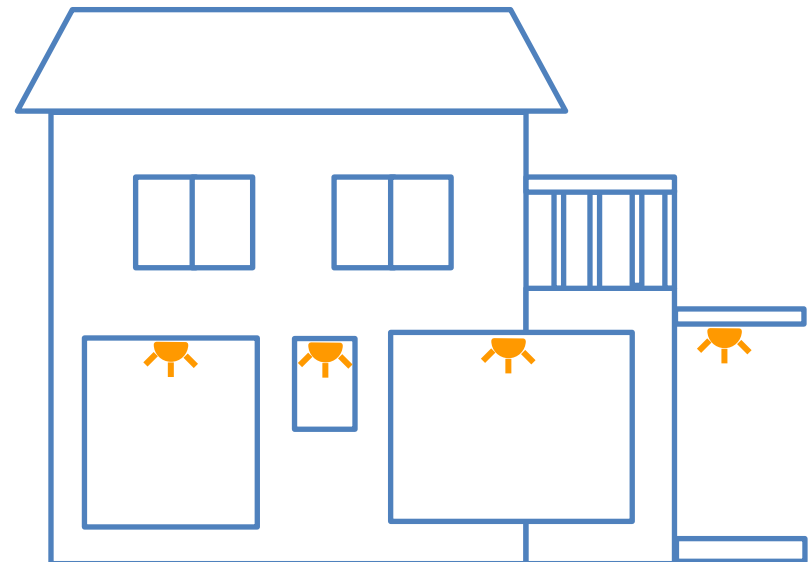
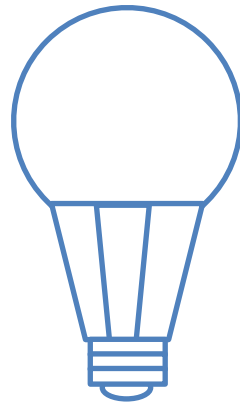
どれをかえるといちばん節約できる？

よく使うところをかえるといいのかな？

解決の方法を発想する力（5年）

では、よく使うのはどこかな？

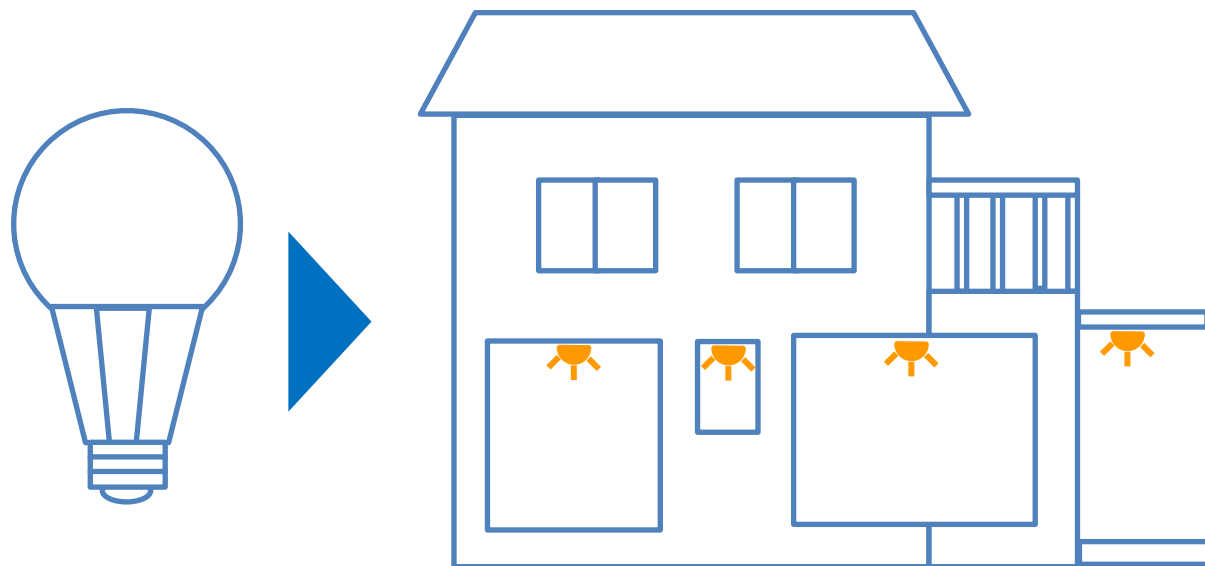
妥当な考えをつくらせる（6年）



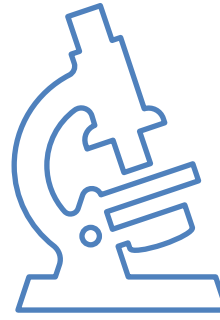
「より妥当な考えをつくり出す力」は、さらに中学校での探究へとつながっていきます。

「自分ごと」として学習内容を日常に活用できるような「問題解決の力」を育てていきましょう。

※今回の「LEDへの交換」は、より妥当な考えをはかる課題として、中学校全国学力状況調査でも取り上げられました。



今週のワンポイント



- 日常生活や身近なことがらと関連した問題解決の場面を提示しましょう。
- これまでの学年で身に付けた資質・能力を活用しましょう。
- 中学校へのつながりも意識しましょう。

